

し、女性の農業参入の促進に努めていきます。具体的には、インターネット上のリクルートサイトに、女性更衣室の利用をPRします。加えて、女性が働きやすいライフプラン・キャリアアッププランをワイズアグリと一緒に作成していきます。

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

●農業に従事する女性の課題として、休みが取れない農業の特質や過酷な労働環境が挙げられます。依然として、出産や育児といった部分は女性が家庭内で多くの役割を担っています。

そこで当園では、会社経営として複数名で農業経営を行う体制づくりを促進しています。現在、いちご観光農園の拡大や多店舗展開を検討しています。規模の拡大に向けて、女性の雇用やキャリアアッププラン、ライフプランも併せて提案し、女性の農業従事者数を増加させていく活動をしています。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

●女性従業員のうち、4名が農作業員として従事しています。また、受付や説明要員としても5名が観光農園で仕事をしています。

しかし、ハウス内は冬場であっても28℃を超える温度で管理しているため、汗をかいたりして着替えるスペースが無く、涼しい場所で休憩することも難しい状況です。これまでも女性従業員から「男性従業員の目を気にせず着替えられる場所がほしい」との要望が上がっています。このことから、空調管理ができる個室を用意し、他人の視線を気にせずすむスペースを確保することが急務であると考えています。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

●農業雇用の促進には、各個人に合ったキャリアプランとライフプランを提示していくことが必要と考えています。例えば、女性にとって出産は金銭的にも肉体的にも制限がかかります。弊社では、規模の拡大に合わせ産休・育児休暇の制度や託児所の設置などを検討していくことで対応していきたいと考えております。女性の農業活動促進していけるような支援を農業界として進めていく必要があると考えております。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の

確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者(注2) の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
③更衣室兼 ④休憩スペース	R5.4	駐車場とハウスの間（地目：雑種地）	1	9	1,663,750	1,512,500	
計			1	9	1,663,750	1,512,500	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
現在進行中	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>・ <u>幅広い作業内容と勤務形態を提案している。</u></p> <p>当園では、ダブルワークで週末に勤務している女性従業員も在籍しています。また、18歳の高校生、子育て世代、65歳以上の女性従業員もおり幅広い雇用形態を提案することで、女性の雇用促進につなげています。</p>	
現在進行中	<p>・ <u>女性の研修・視察の受け入れ。</u></p> <p>女性の就農を促進するために、働きやすく・学びやすい環境を提供しています。また、千葉市の農政課で行われているアドバンス研修受け入れや、農業委員会の女性部の視察研修（船橋、JA八千代）の受け入れ実績があります。また、勉強会の開催やセミナーの開催を行っています。このように広域に波及するように勉強会や女性雇用促進の場に積極的に参加していきます。</p>	
		

現在進行中	<p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>女性雇用促進の取組み紹介を積極的にする。</u> <p>自社のHPや所在地である千葉市での新規就農者やそれを志す方たちに向けて、働きやすい農業現場があるということをPRしていきます。また、現在支援している新規就農者（女性）にも労働環境整備の取組みや課題について共有し、農業界全体の女性進出を応援するような活動をしていきます。</p>	
2023年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>女性の応募数を増やす。</u> <p>2023年10月にイチゴの生産ハウスを増築予定です。その生産ハウスでは女性の新規就農者の研修ハウスとしても活用していく予定となっております。その為、従業員（女性）の雇用を促進していきたいと考えています。</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談会やリクルート活動として、年2回行う。 ・ 就農PRとして、体験会や視察受け入れ年3回以上を行う。
2023年10月	<p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性新規就農者もしくは就農を目指す人たちにPRをしていく（求人サイトへの公表・HP更新）。 	
2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の農業従事者との情報交換/視察の受け入れ（年3回以上） 	
2023年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の呼び込みに向けた農業体験会の開催（イチゴの定植大会、手入れとパック詰め体験等）（年3回以上） 	



(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	9人			
	事業実施翌年度	5人			
	合計	14人			
(女性農業者の新規確保人数の内訳)					
自営農業就業者	1人、	雇用就農者	2人、	アルバイト等	11人

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)
【事業実施年度】R.5 (取組予定業務) 正社員(当社に係る事業全般) (採用時期) 令和5年12月頃 (人数) 2名程度(新規就農支援も含む)
【事業実施翌年度】R.5 (取組予定業務) イチゴの生産(農作業) (採用時期) 令和5年12月頃 (人数) 3名

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。